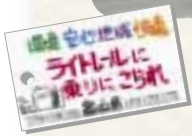


路面電車がゲンキな街。

クルマがなくても、べんりな街へ。
LRTですますす便利になる路面電車の街、富山。



低床車両の導入と段差の無いホームでバリアフリー化を図り、高齢者や体の不自由な方にも利用しやすく改善。



車中心の拡散した都市構造からの脱却を図り、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進める富山市では、2006年に、鉄道路線の富山港線をLRT（次世代型路面電車システム）化。日中は1時間間隔だった運行本数を10～15分間隔に増やしたほか、全ての車両を低床車両に切り替え、ホームの段差を無くしてバリアフリー化しました。公共交通の利便性を高め、沿線に人口を誘導することで、都市機能の集積を図り、車に頼らなくても生活できるまちを目指しています。



岩瀬駅では、乗継を円滑にできるよう、バスの停留所と路面電車の駅を並行して設置。

講評

21世紀の地方都市交通のありかたを提示する非常によい事例です。環境、経済、福祉を視野に入れたグランドデザインの勝利!「日本では北欧の真似はできない」と思っていた人々への勇氣ある挑戦とも言えます。車に頼らなくても生活できる町を目指しており、CO2削減という観点からも非常に効果的。各地での展開が期待されます。

受賞者コメント

富山市都市整備部 交通政策課 交通計画係 主任 角真 浩
誰もが暮らしやすい町を考えるきっかけに



銀賞という高い評価をいただき、大変光栄に思います。富山ライトレールは利便性が高く、環境にもやさしい次世代型の路面電車として大変好評で、県内では知らない人はいないほどの存在になりました。この盛り上がりを一

過性のものにせず、誰もが暮らしやすい町のありかたを市民が考え、実行するきっかけとしていくことが重要と考えています。昔ながらの路面電車も走る富山市にぜひお越しいただき、「エコな旅」を体験してください。

団体名:富山市
所在地:富山県富山市
ウェブサイト:<http://www.t-lr.co.jp/>

都道府県大会の名称 “減らそうCO2” とやまエコアクト・グランプリ!!